

東京学芸大学附属特別支援学校

平成20年度 研究協議会

生涯発達支援学校としての授業実践

ごあいさつ

東京学芸大学附属特別支援学校 校長 朝倉隆司

本校では、平成16年～19年度まで、「一人一人の教育的ニーズにこたえる生涯発達支援学校を目指して」というテーマで、特別支援教育への転換に対応する生涯発達支援システムを構築する研究に取り組んでまいりました。

さらに今年度からは校内の授業の充実を図ることを目的として、「生涯発達支援学校としての授業実践」というテーマを設定し、まず1年目の取り組みでは、各学部の教育課程の実態を明らかにし、授業の見直し・授業作りを中心に検討してきました。

ご多用のことと存じますが、多数の皆様方のご参会をいただき、ご指導・ご助言を賜りますようご案内申し上げます。

期 日 平成21年1月30日（金）9:30～16:30

会 場 東京学芸大学附属特別支援学校
成美教育文化会館

テーマ 生涯発達支援学校としての授業実践

講 演 「特別支援教育における教育実践の
在り方について—授業実践を中心に—」
東京学芸大学 特別支援科学講座

渡邊 健治 教授

日 程

○受付 9:00～9:30 本校正面玄関前

○研究授業・公開授業 9:30～11:00 各学部教室及び特別教室

幼稚部 朝の集まり 幼稚部棟ひかり組教室

小学部 星組／お話で遊ぼう 星組教室

空組／お話で遊ぼう 空組教室

海組／つたえよう 海組教室

中学部 暮らし「友だちとの貸し借り」 中1教室

暮らし「掃除の自立」 中2教室

暮らし「調理：とん汁」 レインボーハウス

高等部 暮らし「調理」 調理室

暮らし「被服」 個別学習室・暮らしの学習室

暮らし「住まい」 レインボーハウス他

*詳細は当日の資料でご案内します。

○全体会 12:30～12:50 成美教育文化会館

挨拶・本校研究概要

○分科会 13:00～14:50 成美教育文化会館

【幼稚部】 幼児期の言語・コミュニケーション発達と支援プログラム

【概要】 幼児期の言語・コミュニケーション指導を考えていく際には、認知能力・言語能力の発達を高める個別指導と、それを般化させていく集団場面へと繋げていく視点が求められる。そこで、本分科会では、「個別」の指導プログラム、「朝のあつまり」における設定遊びといった2つの実践をもとに、幼児期の言語・コミュニケーション発達とその支援について検討していく。

<司 会> 田口悦津子 (東京学芸大学附属特別支援学校)

<提 案> 渡邊貴裕・高野裕美・蓮香美園 (東京学芸大学附属特別支援学校)

<共同研究者> 伊藤良子・大伴 潔・橋本創一 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)

【小学部】子どもたちのコミュニケーションの充実を目指した授業づくり

【概要】小学部には、自閉症を中心とした「重複学級」がある。かねてより、個別のニーズに応じて、重複学級児童及びその他の学級の児童における双方向的な交流指導を試みてきた。本分科会では、本校の教育課程上の支援区分であるコミュニケーション支援を中心として、児童間のコミュニケーションを主眼に設定した授業実践の在り方について皆様とともに考えていきたい。

<司 会>安永啓司 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<提 案>増澤貴宏・井上 剛・宮坂美帆子 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<共同研究者>奥住秀之・小笠原恵・濱田豊彦 (東京学芸大学特別支援科学講座)

【中学部】生涯発達支援学校としての教材・教具の開発

ーユニバーサルデザインの視点からー

【概要】中学部では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れることによって、高等部でも継続して使用でき、かつ他の小中学校でも使用できる教材・教具を開発することを目的として研究に取り組んできた。本分科会では、実際に改善前と改善後の教材・教具を比較して頂き、生涯発達支援学校としての教材・教具の在り方について皆さんとともに考えていきたい。

<司 会>根岸由香 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<提 案>岩本 仁・池尻加奈子・川井優子 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<共同研究者>小池敏英・藤野 博 (東京学芸大学特別支援科学講座)
小林 巖 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)

【高等部】生活支援『くらし』の授業づくり

【概要】高等部では、平成13年～14年にかけて新しい教科・授業づくりに取り組み、生活支援「くらし」を創設した。その後、「個別の支援計画」の策定が進むなど、卒業後の具体的な生活のイメージが明確になるにつれて、生活支援への新たな取り組みが期待されている。本分科会では、「くらし」の授業づくりを通して、生活支援について考える。

<司 会>吉澤洋人 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<提 案>工藤傑史・安東恵美・矢間直世・山口知子 (東京学芸大学附属特別支援学校)
<共同研究者>國分 充 (東京学芸大学特別支援科学講座)
菅野 敦 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)

○講演 15:00～16:30 成美教育文化会館

<講師> 渡邊健治教授 (東京学芸大学総合教育科学系特別支援科学講座)

<演題> 「特別支援教育における教育実践の在り方についてー授業実践を中心にー」

【概要】特別支援教育時代に入り、特別支援学校は地域支援や個別の教育支援計画が課題になっている。多様な教育実践が展開されるなか、特別支援学校における授業実践はどうあるべきか論じていく。

費用

資料代:2000円 昼食:800円 (お弁当希望者)

* 昼食は、事前に申し込み用紙にて予約をお願いします。

申し込み方法

・FAX用紙をご利用の上、平成21年1月23日(金)までにご送付ください。

また、E-mailからも申し込むことができます。

・E-mailでの参加申し込みの際は、下記の内容をご記入願います。

- ①「研究協議会参加申し込み」 ②お名前 ③ご所属 ④ご住所
- ⑤電話・FAX番号 ⑥参加希望分科会 ⑦お弁当の要・不要、個数

【申し込み・お問い合わせ先】

東京学芸大学附属特別支援学校

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台 1-6-1

TEL 042-471-5274/FAX 042-471-5275

E-mail: sskenkyu@u-gakugei.ac.jp

<http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp>

交通案内

